

# 小中学生向け10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ



ふくしま おうえん たろう  
福島を応援する「ペコ太郎」

ふくしまけん 福島県では、昔**大きな地震**があったみたいだけど、今はどうなっているのかな？  
 ニュースや新聞では「**廃炉**」や「**処理水**」ってよく見るけど、なんだか難しそうだなあ…

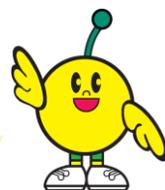
そんな福島について疑問に答える形でわかりやすくまとめているのが、

「**小中学生向け10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ**」なんだ！

10の疑問に分かれていて、最後には**クイズ**もあるよ。

みんな見てみてね！

小中学生向け  
10の疑問から学ぶ  
ふくしま復興のあゆみ



ふくしまけん 福島県  
ふっこう 復興シンボル  
キャラクター  
「キビタン」

## 10の疑問

- (1) 地震と津波の被害はどれくらいだったの？
- (2) 原子力災害はどんなものだったの？
- (3) 放射性物質ってなんだろう？
- (4) 廃炉作業ってなんだろう？
- (5) ALPS処理水ってなんだろう？
- (6) 避難指示等区域ってなんだろう？
- (7) 福島の食べ物はどうなったの？
- (8) 福島の観光はどうなったの？
- (9) 福島イノベーション・コースト構想ってなんだろう？
- (10) 風評被害ってなんだろう？

## ページ例

① 地震と津波の被害はどれくらいだったの？

2011年3月11日の地震は、マグニチュード9.0を記録し、国内観測史上最大級の地震だったんだ。福島県では最大震度6強を記録し、地震で建物が崩れたり、土砂が崩れたりもしたんだ。海沿いの地域は、津波で大きな被害を受けたよ。

各地の震度と被害状況

津波被害：いわき市  
津波被害：浪江町

④ 廃炉作業ってなんだろう？

原子力発電所は、今は「廃炉」に向けて作業が進められているよ。廃炉とは、原子力発電所の運転を停止して、解体することなんだ。今は、主に4つの作業に分けて進められている。全て終わるまでには、30年から40年かかるといわれているよ。

廃炉作業の内容

- ① 使用済み燃料プールの燃料取り出し
- ② 燃料デブリの取り出し
- ③ 汚染水対策
- ④ 廃棄物の処理

震災と原発事故から間もなく15年が経過し、風化が進む中で、若い世代への**記憶と教訓の継承**が課題となっています。未曾有の複合災害の記憶と教訓を「**自分事**」として捉え、復興に向けて挑戦を続ける本県の姿を学ぶきっかけを作るため、図や写真など多く使用し、復興の状況を**小中学生にも分かりやすく**まとめました。

【教育関係者様】…震災学習や探究学習等にご活用ください。

【保護者の皆様】…是非ご家族でご覧ください。

お問合せ先

福島県 企画調整部 復興・総合計画課 E-mail fukkoukeikaku@pref.fukushima.lg.jp